

史上最悪のつま恋ガス爆発を再発させるな！

スズカンの保安担当近藤正純です。

1年ほど前に行った講習会のことです。年に2~3回私どものようなガス販売を行っている保安担当者が集まって保安業務の改善や確認を行います。その時は、四日市の午起にある株ホームエネルギー東海様の事務所で行われました。その時は、地元のガス会社が10社ほど集まってきたいました。コロナの影響で中止が続きましたが、やはり安全のことですでのやるべきだとなつて、ズームを利

用し全国からも参加される形式で行われました。渡された資料に過去の事故事例が載っていました。そこで目に留めたのが、1983年11月22日12時45分に起った『つま恋ガス爆発事故』です。史上最悪の事故と言われています。死者14人、負傷者27人に及び被害でした。

スズカンエネルギーニュース 第1号

~安心・安全のために~



ヤマハの子会社の飲食施設は、夏季はバーベキュー、冬季は和風レストランとして鍋物を提供していました。その切り替える際、作業員が調理器具を繋ぐ末端のガス栓を閉めずに器具の撤去を行い、9箇所のうちガス栓31箇所が開いたままの状態となっていました。営業初日に、ガスの元栓を開いた瞬間に31箇所からガスがもれ、事故後の調べによると平均使用量の2倍に達していました。しかもガス漏れ警報器は4機のうち2機が作動したもののが残り2機は整備不良のため作動しませんでした。記事によるとお客様もガスの臭いに気づいて、たばこなどを控えて注視していましたらしいのですが、製氷機の火花が引火して大爆発に至ったそうです。



つま恋事故現場

これは、3000年も前の話ですが、今は安全対策もかなり研究されています。例えば、**ガスコック**に工夫が施されていて、ガスが止まり先ほどのようなガス漏れが未然に防がれるようになっています。ガスボンベのガスの排出量が通常より多く出されると**ガスマーティー**が検知して**安全装置**が働いて止まるようになっています。反面、安全装置が予期せぬ時に作動することもあります。例えば、通常の時よりガス多量に流れた場合や何か用か使っていたなかつた家でガス使つた場合などです。

このように安全対策が工夫されてきたお陰で、今は1年間に1件事故が起こるかどうかです。

変わってきます。実際に阪神淡路大震災の時は火災も多かったようです。くれぐれも安全対策を怠らないようにしてください。

皆さんに行っていたみたいのは、**ゴムホース**などのひび割れを見つけたら、交換する。安全装置がついていない機器は、交換する。もしすぐ交換できない場合は、必ず**ガスの元栓を止める**などです。

まずは、少しの時間で結構ですので、**定期点検**、ご協力ください。つま恋ガス爆発を再発させないためにも。

前回 2022. 1月分のキャッシュバックの結果お知らせ

- ◎ キャッシュバックでガス代がお安くなったお客様(件数) 91 件
- ◎ キャッシュバック、ベスト3！(ガス代がお安くなったお客様のベスト3)
 - 1位【値引き額】 — 25,000 円 【業種】 事業給食会社(津市)・弁当会社(四日市)
 - 2位【値引き額】 — 12,000 円 【業種】 飲食店(カフェ)(桑名市)
 - 3位【値引き額】 — 9,912 円 【業種】 中華店(四日市)

《キャッシュバックとは?》

スズカンでLPガスをご利用頂いているお客様が、スズカンで商品のご購入もしくは修理等が発生した場合、その金額に応じて翌月のガス代を値引するというシステムです。自動的にお値引きさせていただきますので、難しい手続きは要りません。

* 商品・修理代金¥10,000からの対象となります。上限100万円まで(-100円/㎥)

* ガス使用量は、250m³/月までが対象となります。

* 対象とさせて頂きますお客様は、

- ・業務用として弊社のガスを供給させて頂いている

- ・毎月のお支払い期日が確定している

その他、弊社規定により決めさせて頂いてあります。

発行元

スズカン株式会社



〒510-0072 四日市市九の城町5番8号

電話 059-351-5131(代)

ホームページアドレス

<https://suzukan.co.jp>



お客様に役立てたことや、この会社で良かったこと・

保安担当 近藤正純です

私は、1990年、23年前に今の職場スズカンに入社いたしました。以前は、自動販売機の修理をしておりました。主にたばこの自動販売機です。

スズカンは、厨房機器を中心なので機械的なところのハウハウは、あまり生かせなかつたですが電気に関する知識がとても役に立ちました。またスズカンでは、ガスの配管なども関係していくので、そのあたりは全く分かりませんでした。

最初は、ありがたいことに厨房機器の修理を担当させていただきました。最初に修理したのは確か食器洗浄機です。不具合は、食器洗浄器の種火が点いたら、点かなかつたとするところでした。

当時は、教育などではなく、先輩に同行し横から修理のやり方を見て覚えるというていました。最初に一人で行った仕事は、とても不安でしたが種火のところを分解掃除するだけで、不具合は解消されました。少しづつ厨房機器の修理にも慣れていました。少しずつ15年ぐらいたに経った時です。

今は、保安業務に仕事が変わることになりました。

ガスの定期点検をするには資格が必要ですが、スズカンに入

つてすぐに取得していましたので、そのあたりの苦労は

ありませんでした。

今は、資格試験も難しくなり、若手の子が苦労しているようです。

それ以上に修理の仕事との違いに困惑いました。今までは、ガスを使用する末端のことだけを考えていれば良かったのですが、保安業務となると供給するところからが仕事の範囲になります。修理をしていくときは、ボンベやガスマーティー、安全装置など気にする必要はあつません。極端なことを言えば、ガス器具が正常に使えるかどうかだけです。



(ガス点検作業中)



(ガス点検作業中)

ガスボンベは、建屋の外にあります。外のあるガスを配管で、室内に持ってきてるわけです。あるとどうしても建物に関する構造的な知識が必要になります。大工さんの知識、そして実際に大工さん

のような仕事もしなければなりませんでした。これは今でも苦労するときがあります。

保安の仕事をしたお陰で、修理の時はできるだけ調理の邪魔をしないように早く修理を済むといふことに、注力していました。

たが、今はそれ以上に爆発などの事故が起るということを、一番に

気を付けています。スズカンで良かったなあと思うのは、小さい会社ですが商社ですので色々なメーカーの機器を取り扱います。メーカーの修理の方などのお聞きすると、他のメーカーのことまで解

つてすこしだすねえと言われます。確かにメーカーの立場として、他社のメーカーの修理を請け負って、万が一直らなかつたら大変なことになります。しかも修理よりも自社の製品を買ってもらつた方がよい訳ですから、サービスマンに他社の製品の修理もしなさいとは言ふべきなのです。スズカンの修理は、そういう訳ではございません。

お客様が困つてみえるのですから、最低限使えるようにしなければなりません。技術を覚えることは大変ですが、自分の技術の幅も増え、お客さんの役に立つといふのが、この会社で良かったなあ

と感じますねといふのです。現在は、保安業務を担当しているので、定期的にお客さんといふ機会があると思います。保安に以外にも修理や機器のこともある程度はお答えできると思いますので、お気軽にお声がけください。

スズカンからのちょっとお得なお話

補助金で、入居者の安心を確保する法

介護施設 クリニック 関係の皆様へ

都市直下型
地震
大雨・洪水

南海トラフ
巨大地震

大雪
などの自然災害が
もしも起きたら…。

想定される
状況1

電気が止まり
停電

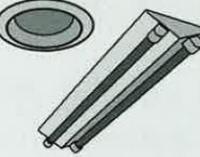
身動きのとれない高齢の入所者や患者さんは、施設に閉じ込められた状態になります。

照明が消える

情報手段が無くなる

エレベーターが止まる

介護用品が使えない



携帯電話の充電 パソコン



吸入器
電動ベッド

想定される
状況2

エアコンSTOP

冬場であれば
命取りになる可能性も

想定される
状況3

調理機器が使えない

電気が復旧するまで
食事が提供できない

皆さんへスズカンからの情報提供です。ガスで発電できるものがあります。このいいところは、ガソリンや軽油は劣化していくのでいざという時に使用できない可能性もありますが、LPGガスは燃料として劣化しません。電気を蓄電しようとすると、電池を使います。皆さんも経験していると思いますが、古い電池は白い粉を吹いて使い物になりません。考え方と同じです。

さらに良い点は、補助金が受けられる可能性があるということです。

補助金を申請したい方は、同封のパンフレットにて